（議長）
次に池内議員の発言をきょ、許可致します。

「池内議員」
議長。

（議長）
池内議員。

「池内議員」
はい。え一議長のお許しを頂きましたので、一般質問を、あーさせて頂きます。
質問に入る前に、え一先般、熊本県で発生した地震により被災された、え一皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。また、この災害により尊い命を亡くされた方々に、謹んで哀悼の意を表しますと共に、ご遺族の皆様には心より、お悔やみを申し上げます。被災された地域の１日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。
さて今回、え一町議会議員として初めてこの場で、一般質問に出させて頂きます。えー１議席をお預かりし、え一町民の皆様の代表として、その責任の重さを改めて感じております。また議員として経験は浅いところではありますが、町民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、町民の、今そして、これから、え一考えながら一つずつ、え一真摯に取り組んで参りたいと思っております。
え一本日は、その思いを込めて質問をさせて頂きます。理事者の皆様には、率直かつ前向きなご答弁をお願い申し上げ、一般質問に入りたいと思います。
えーそれでは私から３点、質問させて頂きます。
まず１点目、え一町職員等の服務規律の徹底と組織的な再発防止についてであります。え一照井町政が４期も、４期目を迎えるにあたり、町政を支える町職員を初め、え一関係団体において、服務規則やコンプライアンスに関する事案が見受けられております。
行政に対する町民の信頼は、一朝一夕に、え一築かれるものではありませんが、一つの不祥事によって、大きく損なわれる事があります。その為、問題が発生した際に、当事者に対する処分や個別の対応を行うだけではなく、何故その問題が起きたのか。その背景に、組織としての課題は無がったのかを検証し、同様の問題を繰りかす、繰り返さない仕組みをつくる事が重要であると考えます。
また、ハラスメントに、え一関係する事案が、あ一現在は発生しておりませんが、えーそのハラスメント事案に関する相談の、お一窓口等々につきましても、お一組織的に、適切に対応できる仕組みをつくる事が重要であると考えております。
そこでお伺い致します、１点目。えーこれから、これまで発生した職員等の服務規り、規律やコンプライアンス等に、え一関わる事案について、町として、その原因や背景をどのように分析・検証し、その結果を再発防止にどのように生かすのか、お伺い致します。えーまた、ハラスメント、お一等々についても同様の、えー、え一防止の仕組みを併せてお伺い致

します。
２点目、え一町職員や臨時職員に対する服務規律及びコンプライアンスの徹底について、現在町としてどのような取り組みをしているのか。また、通知や注意喚起、研修等を実施するだけでなく、その取り組みが職員１人１人に十分に浸透し、実際の行動に繋がっているのか、その実効性をどのように確認・検証しているのかお伺いします。
３点目、服務上の問題を未然に防止する為に、管理職が日常的に職員との意思疎通を図り、職場の現状や職員の変化を把握し、問題の兆候を早期に捉える事が重要であると考えております。そこで、管理職による、え一職員の状況把握や問題を早期に発見し対応する体制について、現在どのような仕組みとなっているのか。えーまた、その仕組みが実際に機能しているのか、実効性を、え一町としてどのように把握・検証しているのか、お伺い致します。
４点目、え一服務規律やコンプライアンス、うー、に関わる問題、更にはハラスメントに、えー、関する事案を未然に防ぎ、発生した場合にも適切に対応する為に、え一職員個人の意識だけに、えー委ねるのではなく、組織として、え一継続的に機能する仕組みを整えている事が必要であると考えます。そこで今回の防止策として、え一服務規律やコンプライアンス、ハラスメント防止に関する、え一研修の充実、職員が安心して利用できる相談・報告・通報体制の整備、更には管理職の役割と責任の、を、明確化し、より実効性のある、え一再発防止の仕組みを構築する考えがあるのかを、お尋ね致します。
５点目。えー５点目、え一服務規律に関わる問題が繰り返され、れる事は、町政全体に対する町民の信頼に関わる問題にあります。町民かい、町民から信頼される行政組織をつくる為、町長として今後どのように組織を改、改善し、再発防止に取り組んでいくのか。その決意を伺います。以上です。

（議長）
ちょ、ちょっと待ってください、池内議員。

「池内議員」
はい。

（議長）
池内議員、あのー、今、あー質問したんですけれども、通告にないハラスメントとかの部分についても質問しましたが、その部分については、通告してないので、答えが出ないと思いますので、その辺は、ご了承願います。

「池内議員」
はい、分かりました。

「町長」
議長。

（議長）
町長。

「町長」
池内議員の１問目、町職員等の服務規律の徹底と組織的な再発防止についての、おー、ついてに関して、えー主に５点についてご質問を頂いております。
まずは近年、職員による不適正事務などを服務上の問題が繰り返し発生している事に対し、町政の責任者として極めて重く受け止めており、町民の皆様に対して深くお詫びを申し上げるところでございます。
１点目の、過去の処分事案の原因分析と再発防止への活用でございますが、え、これまでも事案が発生するごとに検証を行い、事案発生に至った要因を可視化し、再発防止に向けて、江差町職員不祥事防止行動指針などの見直しや追記を行い、全職員に周知を図ってきたところでございます。
えー２点目の服務規律、コンプライアンスの徹底の取り組みについてでございますが、職員１人１人が公僕としての意識づけが必要なものと認識しているところであり、今後も必要に応じて行動指針の見直しや他の自治体の取り組みなども参考にしながら、全職員が高い倫理観を持って職務に専念できる環境を整えて参ります。
３点目の管理職による職員の状況把握、早期対応体制についてでございますが、不祥事の芽を早期に積む為には、現場を統括する管理職の役割が極めて重要であると認識しており、これまでも課長会議を開催する都度、事務の未執行や遅延などについて確認をしてきたところでございます。
なお今回の教育委員会での事案につきましては、管理職自らが当事者となったものである事から、役場庁舎内の係長以下の一般職に対しまして、え一特別職との面談も実施したところでございます。え一今後も引き続き、風通しの良い職場環境作りに繋がるよう管理職に対する研修なども検討して参ります。
４点目の研修・相談・通報体制などについてのご質問でございますが、え一職員研修につきましては、先月、函館市役所で実施された事務ミス防止研修へ中堅職員が参加したところであり、今後もそれぞれの立場に応じた研修に積極的に参加させて参りたいと考えております。
また職員からの相談・通報体制などの窓口を設置する事につきましては、小規模な自治体になればなるほど設置が難しいものでありますが、どのような形・方法ができるのかにつきまして今後内部で議論して参りたいと考えております。
えー５点目の私の決意についてでございます。町政に対する町民の皆様の信頼は、町民１人１人の誠実な事務執行の積み重ねによって、え、得られるものであると認識しているところでございます。
今後も私から、私、自らが先頭に立ち、職員との対話を重ねながら、風通しが良く、お互いに支え合い、律し合える健全な組織風土を築き、町民の皆様から再び信頼して頂けるよう、

誠心誠意取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解頂きたいと思います。

（議長）
池内議員。

「池内議員」
はい。え一町長から、私が先頭に立って取り組むと言う答弁がございました。え一その言葉を、お一是非、実効性のある取り組みに繋げていって頂きたいと思います。中々、あの一、一つの事案で、今まで築き上げてきたものが崩壊するという事のないように、一つ、お願いをしたいと思います。
え一、続きまして、え一２問目、え一、に移りたいと思います。
えぇ委託事業の評価と見直しについてど言う事で、え一、お伺いを致します。え一町が実施している委託事業等々について伺います。え一町では、あ一、様々な分野で外部への委託事業が、え一行われ、私は委託そのものを問題視している訳ではありません。専門的な知識や技術を活用する為に、え一或いは行政だけでは対応できない難しい業務を進めるにあたり、え一外部への委託が必要な、あ一場合が、ある事は十分理解しております。
しかし、重要なのは委託して業務が終了したと言う事で、その事業そのものまで、え一完了した事には、えーしてはいけないと言う事です。何の為にその事業が行われ、どのような成果を目指し、そして、え一実施した結果、町や町民にどのような効果があったのか。これらを検証し、その結果、え一次年度以降の事業の継続改善に、え一繋げ、え一、て行くという判断に、が、必要であると。
え一特に、え一今後、え一新・道の駅かもめ島や風力発電等、町の将来に関わる大きな事業が進んで行けば、その関連する、う一調査・計画、えーコンサルタント等々、様々な委託事業が、あ一増えてくる事も考えられます。だからこそ、今の段階で町として委託事業を、どうのように管理し、評価し、見直していくのか、その仕組みを明確にしておく、え一必要があるのではないでしょうか。
そこで５点、えーお伺い致します。
一つ目、え一事業の立案目的の設定、委託内容の決定、事業の実施、え一実施後の成果の評価、更に次年度以降の見直し、一連の流れについて、え一最終的な、あ一、え一責任と仕組みをどう、おー、なっているのかお伺い致します。
２点目、委託事業の実施後、その成果・効果について、え一現在どのような基準、どのような手続きによって、え一評価・検証されているのか伺います。
えー３点目、えー、え、そうした評価を行った結果を次年度の予算編成や、え一事業の継続・改善・縮小・廃止といった判断に、具体的にどのように反映しているのか、お伺い致します。
えー４点目、こうした評価や見直しを、それぞれ、え一担当課や担当者の判断だけで、に、任せるのではなく、事業の目的設定、成果指標、え一評価基準、え一事後検証、そして見直しの基準を盛り込んだ町として、統一的な指針やルールを整備する考えはなん、ないのか、

お伺い致します。
５点目、町がどのような責任体制のもとで事業を実施し、え、どのような、え一評価を行い、その結果を次の政策判断に、え一予算に反映させているのか。え一これは行政内部だけでの問題ではなく、予算を審議し、行政をチェックする、え一議会によ、に、とっても、重要な情報であると考えられます。こうした、え一事業の、お一体制や、評価、あ一見直しの仕組みについて、えー、え、議会に対してもこれまで以上に明確に説明する必要があるのではないかというふうに思いますので、え一町の見解をお伺い致します。

「町長」
議長。

（議長）
町長。

「町長」
池内議員の２問目、委託事業の評価と見直しについてのご質問にお答えを致します。
業務を継続的に改善していくマネジメント手法として、事業目的をしっかりと持った上で、中で、計画・実行・評価・改善のＰＤＣＡサイクルを回していく事の必要性については、議員と同じ認識でございます。
今後における新たな道の駅開業や洋上風力発電事業を見通した中で、事業の効果を厳格に検証し、財政の健全性を維持していく観点で、施設管理を主（おも）とし、主（しゅ）とした、委託業務全般に係る事業評価手法について、ご、５項目のご質問を頂いておりますのでお答え致します。え、委託事業に限定せず町政策全体としてご答弁させて頂きますので、よろしくお願い致します。
えー、ん、ご承知の通り、町は最上位計画として総合計画を策定しております。総合計画は、町のあらゆる施策を網羅しているものであり、分野ごとに、これまでの実績や、今後に向けた基本方針と具体的な取り組みを掲げ、それぞれに成果指標を設定しており、進、進捗状況につきましては、毎年度、町の総合計画検証委員会へ諮問し、事業評価を重ねているところでございます。こうした事業評価の仕組みは、各個別計画におきましても同様に設けられており、これらは外部委員や業務委託等による事業評価を踏まえ、適切なタイミングで見直しを行っております。
他方、町の仕事を進めるにあたり、当町では事務事業単位で予算を管理しております。事務事業の執行に当たっては、予算要求から決算認定に至る一連の審査・評価プロセスによって、事業の必要性や妥当性を精査しており、次年度以降、必要な見直しを図っております。
次に、担当課ごとの判断に任せない統一的な、し、評価指針の整備意向についてでございます。町におきましては、ご、ご質問のような一律の評価基準を盛り込んだガイドラインは備えておりませんが、財政基盤強化に向けた取り組みにおいては、見直しの視点として、公益性や必要性、効率性、費用対効果や代替手法などといった項目を明確に掲げております。

職員にはこうした視点に基づき、各事業の企画・立案・評価に当たられるよう共通認識化を図っております。
　このように当町では、既定の仕組みづく、仕組みづくりを通じて事務事業の現状や効果を十分に分析・把握できる体制が既に整っているものと捉えており、また当町のような行政規模であれば、新たな事業評価制度を、え一構築せずとも、各担当課が現場の状況や事業効果を的確かつ迅速に把握できる強みがございます。
　今後にお、おきましても関係課との連携と情報共有を密にし、住民ニーズを的確に捉えつつ多様な視点による評価を受けながら、今ある仕組みを徹底して機能させ、事務事業の改善を継続して参りたいと考えております。
　最後に、事務ひょう、え一事業評価の仕組みに関する説明責任につきましては、あっ、う一説明につきましては、これまで同様に議会の皆様への、せ、説明はもちろんの事、町ホームページ等を通じ、住民の皆様にも広く公表して参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

（議長）
　池内議員。

「池内議員」
　はい、ご答弁ありがとうございます。
　え一、ま、再質問ではないのですが、え一教育委員会では、あ一外部評価委員の点検評価報告書というものを、お一作っておりますが、あ一、まぁ、私の言わんとしているところは、え一教育委員会の部局でもやっているんであれば、ぜひ統一的な、あ一、あ一、パターンで、町長部局もこういったもので、え一外部の評価を受けたらどうですかと言う事の提案でございますので、え一、え一、その辺を、お一、仕組みづくりを持つ事をご検討頂ければと思います。
　続きまして、えー３問目に、え一参ります。
　えー３問目、え一進化する江差を見据えた３０年後の観光戦略についてという事で、え一、えっ町長はこの度、町長選挙において４期目の当選を果たされました。新たな町政をスタートされます。
　一方、今回の選挙では、町の将来や、え一新・道の駅江差かもめ島を始めとする今後のまちづくりについて、町民の中から様々な意見が示されたものと受け止めております。え一選挙の結果は結果として、尊重されるべきものではありますが、同時に異なる意見を持つ町民の声にも耳を傾けながら、町全体として将来の、お一方向性を共有していく事が、４期目の町政において重要ではないかと考えております。町長は「進化する江差」をキャッチフレーズに挙げ、３０年後の江差町を町民が、あ一想像し語り合えるような町政を目指して、え一、目指しているものと受け止めております。私は、え一今後の照井町政において、特に観光が重要な政策の柱と、柱の一つになっていくものと信じ、感じております。
　だからこそ、新・道の駅についても、これからの、え一、賛成反対という議論だけで、に

留まるのではなく、計画を進めるのであれば、町民にとって、より良いものにする為に何が必要なのかという、その、え一議論を進めるべき時期に来ていると考えています。

私は、え一今から３６年前、観光に携わる仕事をしておりました。え一当時は、当時を振り返ると、江差には、え一観光客が１００万人以上訪れ、開陽丸記念館には年間１５万人、いー、の方が訪れた時代がありました。昭和３７年に建設された江差追分会館を初め、文化会館、え一行政組合の本部庁舎、江差町役場庁舎、え一町民野球場、開陽丸記念館、町の主要施設や、え一観光交流施設が次々と整備され、今振り返ると、江差のまちづくりが大きく進んだ時代でもありました。私自身その時代の江差の観光に携わった１人として、多くの観光客で賑わった江差の姿を実際に見てきました。

しかしながら、それから３６年が経過し、人口減少や旅行形態の変化、交通環境、観光客のニーズの変化など様々な要因があると思いますが、現在、かんい、え一開陽丸記念館の年間来場者数は、年間１万２千程度と認識しております。かつて開陽丸には１５万人、年間訪れていた時代を知る者として、え一現在の状況を見ると、私はここに、これからの江差の観光を考える上で、非常に重要な課題があると感じています。何故、いつ、ん、何故、かつて多くの人がおと、訪れていた江差の観光が、現在の状況になったのか。これは過去の観光政策を批判する為に申し上げているものではありません。むしろこれ、これまで、何、何が人を江差へ呼び込み、社会環境や旅行形態が変化する中で、何が通用しなくなったのか。その経過を検証する事が、これから新しい観光施策を作る上で必要なのではないでしょうか。

その大きな転換期となるのが、現在計画されている新・道の駅であると考えています。

現在、開陽丸記念館の年間来場者数が１万２千である一方、え一新・道の駅については、え一昨年来、説明会において、え一年間９万６千人を見込んでいると、え一、考えを、え一、聞いております。現在の開陽丸記念館の利用者数の、お一数字だけ見るとおよそ８倍。しかし、え一想定、え一来場者数を、え一現実的ではないと否定するつもりはありません。何故なら３６年前、開陽丸は１５万人訪れ、江差町内には１００万人以上の観光客が訪れた時代があったからです。江差には、それ以上の人を惹き付け、惹き付てきた歴史・文化・自然・食、そして観光資源があります。だからこそ、え一私は、この、え一想定来場者数を単なる施設の利用者目標ではなく、江差の観光をもう一度作る、作り直す為の一つの目標として貰いたいと思います。ただ施設を新しくすれば、自動的に。

（議長）

池内議員。

「池内議員」

はい。

（議長）

あのー、簡潔に、もうちょっと質問通告書に従って、もうちょっと簡潔になりませんかね。

「池内議員」
簡潔に。はい、分かりました。
えー、はい、失礼しました。であれ、で、えーお聞きしたいのは、あー中長期的な観光、え一戦略を策定する考えはあるのか。
新・道の駅、え一開業前から具体的な誘客、再訪問施策を準備しているのか。その辺をお伺い致します。

（議長）
池内議員。質問通告書には、１番目で、ひとつ、ひと、１項目で２点。２項目で３点、質問ありますが、その辺きちんと、もう一度、お願い致します。

「池内議員」
えー、い、まず、う一大台として１点目の、新・道の駅の、お一施設利用者をどう維持、え一増加させるか。これの中長期的観光戦略を策定する考えはあるのか。
えー、二つ目、え一新・道の駅開業前から具体的な、あ一誘客、え一再訪、んっ、再訪施策を準備しているのか。
大きな二つ目、え一新・道の駅の施設を利用、利用し、施設利用者を町全体にどう、え一回遊させるか。
１点目、新・道の駅から追分会館、えー、れ、歴まち、かもめ島、え一商店街、飲食店、宿泊施設へ誘導する仕組みを作っているのか。
２点目、観光客の滞在時間の延長、え一町内消費、リピーター獲得に繋げる具体的な観光戦略を構築しているのか。
最後に、更に渡島・檜山管内との連携をし、広域的な観光支援に繋げる戦略を持っているのか、以上５点お伺い致します。

「町長」
議長。

（議長）
町長。

「町長」
池内議員からの３問目、観光戦略に関するご質問にお答えを致します。
初めに新しい道の駅に関連して、利用客者す、え、利用者数の増加に向けた観光戦略や誘客再訪施策に関するご質問でございます。
利用者の増加に向けた施策に関しましては、道の駅の集客の要は飲食物販の充実であると認識しており、運営事業者には、民間のノウハウを生かした訴求力のある商品提供・品揃え

を期待すると共に、実績データに基づく需要予測施策の組み合わせにより、道の駅の魅力の向上と利用者の増加に繋げて頂きたいと考えております。町と致しましても事業者と密接に連携を図りながら対応して参りたいと考えております。

また、観光戦略につきましては、観光地域づくり法人であります北海道江差観光未来機構において策定しているところでございまして、え、現在は令和９年度からの新たな戦略について策定作業を行っているところでございます。

え、次に、道の駅の来訪者を町全体にどう回遊させるのかのご質問でございます。

道の駅を訪れる方々が、道の駅の施設単体で完結するのではなく、他の観光施設や、き、既存の商店街等への人流の促進を図り、地域全体に経済循環を生み出していく事が重要であると考えております。道の駅内に設置される観光案内所において、か、え一追分会館や、いにしえ街道、かもめ島、商店街、飲食・宿泊施設への人流に繋がるよう幅広く周知を図って参ります。

また事業者グループからはガイドツアーの造成など、まち歩き回遊促進による消費拡大、既存商店、え一既存市街地への人流促進などの計画も示されているところでございます。更に事業者グループが開催している町民参加のみんなでつくる道の駅プロジェクト会議においては、江差、江差の魅力を楽しんで頂けるプログラム作りにも取り組む事としております。

町と致しましても、道の駅を核に上町・下町・商店街にあるスイーツの店舗との連携などに取り組んで行きたいと考えており、今後、施策の具現、具体化に向けて事業者側とも協議を進めて参ります。

また、これらを通じて観光客の滞在時間の延長や町内消費、リピーターを増やすなど、併せて取り組んで参ります。

え、最後に、渡島・檜山管内の連携による広域的な観光振興に関するご質問でございますが、江差観光コンベンション協会においては、松前・上ノ国・江差による、うー北海道歴史クラブでの観光ＰＲ事業や、道南の自治体や企業が参画する新幹線活用推進協議会による渡島・檜山管内周遊企画の実施など、広域連携による観光振興を推進しているところでございまして、今後は道の駅設置自治体による周遊連携についても、検討して参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

「池内議員」

議長。

（議長）

池内議員。

「池内議員」

ありがとうございます。

え一町長から具体的な方向性をお示し頂きました。え一、是非その考えを開業前から具体

的な取り組みに繋げていって頂きたいと思います。
　えー、最後に一言、お一申し上げますと、まっ３０年後は、私は多分、この世にはいないかと思いますけども、是非、３０年後の未来を語り合える江差を是非作って頂きたいというふうに思いますので、これで終わりです。

（議長）
　以上で池内議員の一般質問を終わります。